

皆様からたくさんの情報を提供いただきました ありがとうございます。
こちらに届きましたメールをそのまま転載いたします。

東京第10期 YTIC 橋本早苗と申します。
白石先生からのメールを読み 少しでも役立てばと思いメールいたしました。

1 時的避難所ではありますが いつまでという期限はないそうです。
直接電話をしてもらい 話をしていただければ大丈夫のようです。
まだ空きもあります。

「とどろきアリーナ」
住所：神奈川県川崎市中原区等々力1-3

連絡先：川崎市役所 044-200-3651

現在、神奈川県公営住宅に電話をしていますが 全くつながりません。 分かり次第、そちらもメールいたします。

児玉明美 saladoco1117@yahoo.co.jp
〒981-0952 仙台市青葉区中山4-15-19
TEL 022-277-8938

仙台第2期 YTIC 児玉明美です。福島、新潟で予定されている AMDA との連携指導
新潟で協力できます。よろしくお願ひします。

Y I C大阪13期修了生の岩山です。 お世話になります。
先日、下記の掲題のご提案のメールをさせて頂きました ご覧頂けましたでしょうか。
今すぐには無理でも、これから避難所生活が長期化すればするほど、健康や精神面のサ
ポートが必要になると思われます。ぜひご検討頂き、ご連絡頂ければと思います。

どうぞ宜しくお願い致します。
(以下再送)

-----Original Message-----

From: JIN IWAYAMA [mailto:iwayama@riccrea.co.jp]

Sent: Monday, March 14, 2011 10:26 PM

To: 'ヨーガニケタン'

Subject: 震災支援に関してのご提案

木村慧心 先生

Y I C大阪 13期修了生の岩山です。
お世話になります。

さて、東日本は大変な状況になっておりますが、これから避難所での生活が続き、避難された方々の健康状態の悪化が懸念される中で、ヨガを学んだ者として、何らかの支援ができないかと思っております。

Y T I Cの修了生はもちろんのこと、Y I Cの修了生でも避難所でアーサナや呼吸法を指導することで、健康や精神面のサポートをすることができるのではないかと思います。

ただ、個々に行動しても効果的な活動にはなりにくいですし、受け入れて頂くことさえも難しいと思いますので、ぜひヨガ・ニケタンとして、医療機関や大学、行政などと連携をとり、チームを組織して支援活動ができればと考えておりますが、いかがでしょうか。私はもともと阪神大震災の折に日本語がわからなくて困っていた外国人をサポートしたところからスタートしたNPOで後に事務局長などを務め、外国人向け情報提供を行う会社を設立し、行政などと連携して活動していた経験もあります。

現在も大阪府庁を始めとする行政の職員研修などを行っておりますので、何らかのお役に立てると思います。

ぜひご検討頂き、ご連絡頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

岩山 仁

関係者から送られた情報を載せておきます全国で避難先の受け入れの輪が広がっていますが、下記のサイトで取りまとめているようですので、参考までにお知らせ致します。

各地方自治体の被災者受け入れリスト（無償公営住宅）<http://togetter.com/li/112264>
山辺@福岡

そちらの東北関東大震災関連の情報を見ました。日本ヨガ療法学会理事の白石豊先生からの支援の要請文を拝見し、私が産経新聞3月19日付の夕刊で知った内容をお知らせします。既に、ご存じであれば重複することになり申し訳ありません。

佐賀県武雄市の被災者支援（ホームステイ2000人受け入れ）について、以下のアドレスにて、ご確認をしていただければと思ひまして、お知らせした次第です。 よろしくお願ひします。

武雄市タウンステイ構想 <http://www.city.takeo.lg.jp/info/2011/03/post-602.html>

白尾博子（ヨーガ療法学会員）

hi-sirao@fmail.plala.or.jp

浜松市でも住居の提供をすることになっておりますので、白石先生にお伝えしたいのですが先生の連絡先が分かりませんでしたので、慧心先生に送らせていただきます。

ただ、浜松市の受付開始が16日ですので、もういっばいかもしれません。

まずは、情報提供ということで、お手数をおかけしますがよろしくお願ひいたします。

以下、浜松市HPよりコピーしました。

1. 入居対象者 東北地方太平洋沖地震の被災者及び被災者世帯 被災状況等については、下記のとおりです。地震によって建物が半壊等となり危険で住めない 津波によって建物が半壊等、または半水没等となり危険で住めない 福島第一原子力発電所から20km以内に住宅がある 福島第二原子力発電所から10km以内に住宅がある
2. 提供戸数 市営住宅82戸
3. 受付開始 平成23年3月16日
4. 入居基準 収入等の入居資格要件は不要
5. 入居期間 原則3か月
6. 家賃等 家賃は全額免除、連帯保証人・敷金は不要
7. その他 電気・ガス・上下水道等及び生活必需品については各自で手配。申込み方法など詳細については下記お問合せ先にご連絡ください。

お問い合わせ先 浜松市役所住宅課 管理グループ 〒430-0948 浜松市中区元目町120-1
Tel : 053-457-2455 ・ Fax : 053-472-9014 E-Mail : jutaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

加藤 則子 katochan@courante.plala.or.jp

北海道、被災者受け入れ開始 札幌市営住宅、18世帯が入居

北海道内自治体で東日本大震災の被災者の受け入れが始まった。

道は18日から被災者からの受け付けを始めた。17日から市営住宅で受け入れを始めた札幌市にはすでに18世帯59人が入居した。道内104市町村で1186戸の公営住宅も確保されており、道は各自自治体と連携しながら被災者の受け入れ態勢を拡充していく。

道は地震の被災者に加え、福島第1原子力発電所事故に伴う避難指示エリアに居住している人も受け入れる。地震の被災者の入居期間は3カ月とし、避難区域の居住者については1カ月とする。いずれも原則1年間まで延長できる。

被災証明書がなくても、保険証などで住所が確認できれば入居できる。札幌市内の道営住宅ではすでに10件以上の申し込みや問い合わせがあったという。札幌市も250戸の市営住宅を確保し、受け入れを始めている。

道は18日、道内には仮設住宅を建設可能な公有地が約370万平方メートルあり、3万世帯以上の受け入れが可能という概算も出した。道は函館市内など17市町に延べ約20万平方メートルを保有している。

高木史子

中野智之 : aozora@kyj.biglobe.ne.jp

〒530-0022 大阪市北区浪花町1-18-1006 TEL 080-4245-5755

: 白石先生の呼びかけの件での情報提供です。東京都中野区沼袋1丁目に賃貸住宅を所有していて、現在1戸空きがあり、即入居可能です。フローリング11畳弱のワンルーム、バストイレ別、エアコン付、クローゼット付きです。災害の程度に応じて、諸費用の免除から半年程度の家賃の減免まで相談に応じます。通常通りの募集もしておりますので、入れ違いになったら申し訳ないです。

臼井朋子 shanthi@dhk.janis.or.jp

〒399-8602 長野県北安曇郡池田町会染552-1

TEL : 0261-62-0638

: 長野県ゲストハウスシャンティックティという宿をやっています。現在いわき市からの7名の被災者と暮らしています。朝ヨガをやってご飯を一緒に作ってみんなで仕事をして合宿生活をおくっています。そんな私たちを見てうちの家にもホームステイで受け入れたいという声がたくさんとどいています。わたしどもで取りまとめをしますので希望される方がどれくらいいるかおしえてください。できる限り力になりたいと思います。白石先生によろしくお伝えください。090-4964-5715 うすいともこ